

資源生産性の算定方法及び目標値の設定根拠について

(1) 現行のごみ戦略 21 での資源生産性の定義

資源生産性は以下の算定式に基づき算定される。

$$\text{資源生産性 (円/t)} = [\text{a}] \text{市内総生産 (円)} \div [\text{b}] \text{天然資源等投入量 (t)}$$

[a] 市内総生産 (GDP)

国の算定方法と同様に実質 GDP を用いている。

[b] 天然資源等投入量

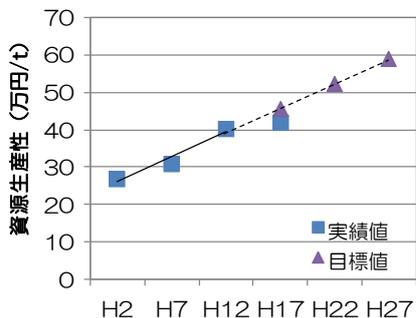
天然資源等投入量は、

- ① 京都市への資源等移入量
- ② 京都市域内での資源採取量

を物流センサス等の統計資料をもとに推計し、合計したものをしている。

(2) 目標値の設定根拠 (現行のごみ戦略 21)

本計画では平成 2 年度から平成 12 年度までの推計値を直線的に外挿した値を目標値として設定することとした。



<参考> 資源生産性の現状

	単位	H2	H7	H12	H17	H22 目標	H27 目標
市内総生産 (A)	兆円	5.8	5.9	6.0	6.4	—	—
天然資源投入量 (B)	百万 t	21.4	19.1	14.9	15.4	—	—
資源生産性 (A/B)	万円/t	26.9	31.0	40.3	41.8	53	60

H17 資源生産性目標値：45.7 万円/t